

東区社協だより

ふれあいの

窓 まど

第109号 2023.11

もくじ [Contents]

- 2~3 福まちかわら版
(栄東地区・元町地区・苗穂東地区・東区)
- 4 ボランティア活動グループのご紹介
生活支援コーディネーター活動紹介
- 5 サロン活動のご紹介
ふれあい・いきいきサロンセミナー開催報告
- 6 令和5年度赤い羽根共同募金運動がはじまりました
- 7 民生委員・児童委員の活動を紹介します
- 8 ご寄付のお礼・賛助会員募集
東区社協NEWS

敬老の日

米寿のお祝い 花束贈呈・訪問

伏古本町地区福祉のまち推進センター



編集・発行

社会福祉法人
札幌市社会福祉協議会
地域福祉部

東区社会福祉協議会

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目 東区民センター1階

[TEL] 011-741-6440 [FAX] 011-721-6444 [URL] <https://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

HPアクセス /

スマホ等の
カメラで
読み取り



福まちから版

福祉のまち推進センター（通称「福まち」）とは、地域住民による自主的な福祉活動（日常的な見守り、支え合い等）を行う組織です。地区社会福祉協議会（概ね連合町内会単位）ごとに設置され、札幌市全体で89地区、東区では10地区の福まちが活動しています。

栄東地区 【福祉のまち推進センター】

映像で秋の紅葉を満喫 ～ふれあいお食事会～

令和5年10月12日（木）、地域に住む一人暮らし高齢者と福祉協力員の交流活動の一環として「ふれあいお食事会」を開催しました。日の丸会館を会場に第1部・第2部に分かれての開催となりましたが、合計119名（スタッフ・来賓含む）の方が参加されました。

前半は「映像でめぐる世界遺産の旅」と題し、日本国内の世界遺産の秋の紅葉スポットの上映会を行いました。栄東まちづくりセンターの竹重副センター長によるナレーションとともに息をのむような美しい景色がスクリーンに次々と映し出され、参加者のみなさんは素敵な秋の旅気分を満喫しました。

後半は介護予防センター栄・丘珠の指導のもと、タッピー体操でストレッチをしてから、脳トレ効果

もある体操に挑戦しました。座りながら自宅でも実践できる動作も多く、参加者のみなさんの健康増進に役立つ時間となりました。

今回は感染症予防の観点から、会場での食事は行わず、お弁当持ち帰り形式となりました。今後も工夫を凝らしながら、地域のみなさんが安心して楽しめる催しを開催していきます。



元町地区 【福祉のまち推進センター】

敬老の集い ～お食事会を4年ぶりに開催！～

令和5年9月16日（土）、元町会館を会場に敬老の集いを開催しました。

元町地区内11の町内会から、喜寿（77歳）、傘寿（80歳）、米寿（88歳）、90歳以上の方が合計で24名参加されました。

4年ぶりに用意されたお食事とともに、体操や昭和の歌謡曲を楽しみました。



元町まちづくり連合会女性部からは、手作りのきのこ汁が振舞われました。



尾形さん（95歳）今回最高齢の参加者です。地域の方々からは「あーちゃん」という愛称で呼ばれ、親しまれています。「コロナ禍が明けて久しぶりにみんなとご飯を食べられて楽しかった。ぜひ来年も参加したい」とお話しされていました。

苗穂東地区 【福祉のまち推進センター】

みなさんの笑顔にやっと会えました!

苗穂東地区福まち恒例の「健康講座とふれあいお食事会」。コロナ禍前は、苗穂地区にお住いの70歳以上の方を対象に、健康講座で日々の健康維持について学び、昼食を皆さんと一緒に食べて交流を深める楽しい時間を過ごしていましたが、コロナ禍で中止せざるを得ませんでした。

けれども、地域のみなさんとのつながりを絶やさないように、短い時間でも何かできないかと地区福まちで考え、令和5年9月14日(木)に形を少し変えて開催することにしました。

今年度は、“お食事会”ではなく“交流会”と一部改め、「健康講座とふれあい交流会」と題し、11時～12時の1時間、苗穂本町地区センターを会場に開催しました。当日は、苗穂東地区を担当する関係機関のみなさん(区役所、東区第1地域包括支援センター、介護予防センターなえば、東区社協)による「フレイル予防」のお

話と体操で、参加者も自然と笑顔になり笑い声も聞こえていました。そして、一緒にお食事をすることはできませんが、その代わりにお土産のお弁当をお持ち帰りいただきました。

「以前に比べると参加者は少なくなりましたが、来年度以降もマイクロバスを活用しながら、苗穂東地区にお住いのみなさんが健康で心豊かに過ごせるように、地区福まちで知恵を絞って事業を行っていきたくと思っています。」と苗穂東地区福まちの吉 運営委員長はお話されていました。



東 区 【福祉のまち推進センター】

東区地域福祉ネットワーク会議を開催しました

令和5年8月7日(月)、東区民センターにて地域福祉ネットワーク会議が開催され、区内各地区の連合町内会会長、社会福祉協議会会長、福まち関係者、第2層生活支援コーディネーター等、33名が参加しました。

会議では「コロナ禍以降の福まち活動について」をテーマに、各地区福まちの活動状況や現在抱えている課題等について、情報・意見交換を行いました。

今後も地区を跨いで情報共有できる場を設け、地域活動の活性化につなげていきます。



ボランティア活動のご紹介

おもちゃクリニック



「おもちゃクリニック」は、平成14年に発足し、今年で活動20年目になります。東区を中心に6か所で活動しており、子どもたちが遊ぶおもちゃから高齢者の思い出の品まで修理を行っています。また、地域のお祭りなどイベントでの出張修理も行っており、地域からも頼りにされています。子育てや高齢者支援、環境貢献に寄与していることから、これまでさまざまな表彰も受賞しています。

代表の柳橋 正気(やぎはし せいき)氏を中心に、時代とともに進化するおもちゃに合わせて、会員間で知識を共有するなど協力し、可能な限り修理するよう心掛けて活動しています。



こんな活動をしています!!

生活支援コーディネーター 活動紹介

生活支援コーディネーターは、住民主体による支え合い活動を進めています。地域住民の皆さんやボランティア、NPO、民間企業など地域の多様な主体と連携を図り「支え合いの仕組みづくり」を行っていくのが『生活支援体制整備事業』の取組です。

具体的には、「地域資源の把握・開発」、「生活支援ニーズの把握・共有」、「担い手の育成・発掘」、「協議体の設置・開催」に取り組んでいます。



令和5年9月29日(金)に、東区民センターにおいて「札幌市介護支援専門員連絡協議会東区支部 定例研修会」が開催され、生活支援コーディネーターが講話と情報提供を行いました。

研修のテーマは「ケアマネ知っ得～みんなで作ろう 社会資源マップ～」で、高齢者の方が安心して街に繰り出すために活用しやすい社会資源マップを作成する目的です。



※生活支援コーディネーターの役割の1つとして「地域資源の把握」があり、情報収集・情報提供を行っています。

Higashi-ku

サロン活動のご紹介

茶屋笑顔

伏古本町地区

- ・場所 ふれあいの家「さくら」
- ・内容 おしゃべり、歌、体操
- ・日時 毎月第3金曜日

伏古本町地区共栄西町内会在住の方々が参加するサロン「茶屋笑顔」では、毎月第三金曜日に集まり、お茶やお菓子をいただきながら、楽しくおしゃべりをしています。町内会のお祭りではバザーを出店し、おにぎり、おいなりを振舞いました。この日は、ボランティアの方が弾くピアノに合わせて歌やクイズを楽しみました。



ふれあいいきいきサロンセミナー開催報告

本会は令和5年8月17日(木)、区民センター視聴覚室にて、令和5年度東区ふれあい・いきいきサロンセミナーを開催し、28サロン、39名の方にご参加いただきました。

1 開会・情報交換会「コロナ禍以降のサロン活動について」

コロナ禍によるサロン中止期間の工夫や、日々の活動で困っていることなど各地域で取り組んでいる実践について情報交換を行いました。



2 講義「サロンでできる簡単脳トレ・体操」

介護予防センター栄町 若本さおり氏を講師に招き、クイズや脳トレ、タオル体操を楽しく行いました。普段はサロンを主催する側の皆様ですが、この日は参加者の一人として別のサロンの方々と笑い合って参加していただきました。



3 サロン資材抽選会・閉会

イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」寄贈を活用し、レクリエーション資材の無償貸与を行っています。希望が重複した資材はじゃんけんで決め、大盛り上がりで閉会を迎えました。



サロンを開催したい!参加したい!などのお問い合わせもお待ちしています。

令和5年度 赤い羽根共同募金運動がはじまりました

令和5年度札幌市東区共同募金委員会 理事会・分会事務長会議を開催いたしました。

令和5年8月30日(水)、東区民センター大ホールにて令和5年度札幌市東区共同募金委員会理事会・分会事務長会議が開催され、今年度の運動方針等について承認されました。

また、今年度より新たに会長、副会長が選任され、今後の共同募金運動の活性化に向け、抱負を語っていただきました。



岩谷 隆司 新会長 (写真右)
向山 俊男 新副会長 (写真左)

区内各地で街頭募金活動の実施

今年度も10月1日(日)から赤い羽根共同募金運動が始まりました。東区共同募金委員会では10月7日(土)までの期間、地区分会や老人クラブ、ボランティア団体などのみなさまにご協力いただき、区内各地で街頭募金運動を実施いたしました。

コロナ禍が明けて本来の体制に戻りつつある中、活動中に世代間の交流や暖かいコミュニケーションも多く見られました。



今年度よりサツドラ北8条店様にご協力いただき、街頭募金を実施いたしました。

今年度の街頭募金活動では、330,805円をお寄せいただきました。
皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

民生委員・児童委員の

活動を紹介します



民児協キャラクター
ご当地ミンジ

私たちが暮らす地域には、あまねく民生委員・児童委員さんが配置されています。札幌市の場合、平均330世帯に1人という割合で選任されますが、区域の高齢化率や面積なども考慮され、委員としての担当エリアが定められています。

民生委員・児童委員の職務は、担当する地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めることであり、民生委員法により無報酬とされ、その身分は特別職の地方公務員とされます。



元町地区の街頭啓発(地下鉄環状通東駅)



伏古本町地区の啓発(コープさっぽろ新店)

近年、こうした民生委員・児童委員の「成り手不足」が叫ばれています。東区の場合、8月1日時点で、415名の定員に対し、およそ1割に当たる40名の欠員が生じているのです。2つの写真は、民生委員・児童委員活動について、広くご理解いただくことを目的に実施した街頭啓発の様子です。

民生委員・児童委員さん方の基本的な活動は、一人暮らし高齢者宅を訪問して、安否確認と相談援助にあたることです。委員さん方にこれまで良かったと感じたことを尋ねると、大半が「担当する世帯の方から、ありがとうと言われた時かな」と答えます。

委員さん方は、日々研鑽にも励んでいます。右の写真は東区全体の研修会です。精神障がいや閉じこもりといった難しいテーマでしたが、真剣に向かい合っています。



東区民児協全体研修会(自治労会館)



子ども問題に関する主任児童委員研修会(区民センター)

民生委員は、児童委員を兼ねています。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行います。一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の委嘱を受けています。

左の写真は、定期的に行われる研修会の様子ですが、参加者同士の熱い思いが交わされています。

あたたかいご寄付 ありがとうございました

令和5年7月以降の
受付分を紹介いたします。

- イトーヨーカドー労働組合 札幌支部 様 21,000円
- 伊藤 誠也 様 3,000円
(伏古本町地区サロンへのご寄付)
- 菊池 記代 様 100,000円
(香典の一部として)
- 明治安田生命保険相互会社 札幌支社 様 114,500円
- 札幌市東区文化団体協議会 様 21,227円
- 札幌愛石会 様 10,000円

皆様から頂いた善意は、地域の福祉活動(地域の見守り活動や孤立をしない地域づくり)に活用させていただいております。皆様からのお申し込みをお待ちしております。



イトーヨーカドー労働組合 札幌支部 様



明治安田生命相互会社 札幌支社 様



札幌市東区文化団体協議会 様

令和5年度の賛助会員を募集しています

本会では、地域のみなさま、企業、団体から賛助会費を募っております。
東区内小・中学校での福祉教育推進事業をはじめ、東区の地域福祉活動を進めていく財源として活用いたします。
賛助会員は随時受け付けております。みなさまのご協力をお願いします。

会費額(年額)	
個人(1口)	1,000円
企業・団体(1口)	10,000円

口座名義
しゃかいふくし ほうじんざっぽろし しゃかいふくし きょうぎかい 社会福祉法人札幌市社会福祉協議会 かいちょう ふくさこ しょういちろう 会長 福迫 尚一郎

振込口座
北洋銀行 光星支店 普通預金 7206584 ※振込手数料はご負担ください

問い合わせ先
社会福祉法人札幌市社会福祉協議会 地域福祉部 東区社会福祉協議会 電話 741-6440 ファックス 721-6444

東区社協 NEWS



秋田市災害ボランティアセンターに 職員1名を応援派遣

令和5年8月15日(火)～19日(土)、7月に発生した大雨災害により設置された秋田市災害ボランティアセンターに、東区社協から職員1名を応援派遣しました。

派遣された職員は、被災地のボランティア活動の拠点である災害ボランティアセンターにて、ボランティア要請と活動者のマッチングや連絡調整等の役割を担い、全国各地から駆け付けたボランティア活動者の支援を行いました。

派遣期間中は猛暑が続き、屋外活動には厳しい日が続きましたが、無事に活動を終わりました。

今回経験したことを東区社協、札幌市社協で共有し、もしも札幌市で大きな災害が起きてしまった際に災害ボランティアセンターを円滑に運営できるように、組織一体で備えて参ります。